2026年12月期
第３四半期

決算補足説明資料

株式会社グラッドキューブ（証券コード9561）

2026年11月13日

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

index

1. Executive Summary

2. 2026年12月期第３四半期 連結決算概要

3. 事業概要/事業領域

4. 事業別 決算ハイライト

　4-1. マーケティングDX事業

　4-2. テクノロジー事業

5. 成長戦略・中期成長イメージ

6. Appendix

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

1. Executive Summary

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

1 . Executive Summary

1 売上、利益、進捗。第３四半期累計は、すべてが計画を上回る

売上｜第３四半期累計の売上高は1,410百万円と、過去最高を更新

利益｜営業利益は49百万円。前年同期（△58百万円）から+108百万円の黒字転換

進捗｜当初予想比で売上高108.1%、営業利益+68百万円。修正後通期予想に対する営業利益は105.9%

2 成長、収益、新領域。マーケティングDX事業は、３Qとして過去最高売上

成長｜売上高433百万円（前年同期364百万円）。第３四半期会計期間として過去最高

収益｜セグメント利益138百万円（前年同期120百万円）と、収益性も向上

新領域｜ChatGPT広告（ChatGPT Ads）の運用支援サービスを提供開始（2026年７月）

3 開発、資金、販路。テクノロジー事業は、次の収益の柱へ

開発｜米国向けAI予測プラットフォーム「RYUMA」の第１段階開発が完了（2026年７月）

資金｜採択済みのものづくり補助金は実績報告を完了し、開発投資の負担軽減へ

販路｜AvaTwin Chatbotに「株主総会想定問答 自動生成オプション」を追加（2026年７月）
株式会社プロネクサスとの連携で上場企業からHR領域へ販路を拡げ、月額課金の収益を積み上げへ

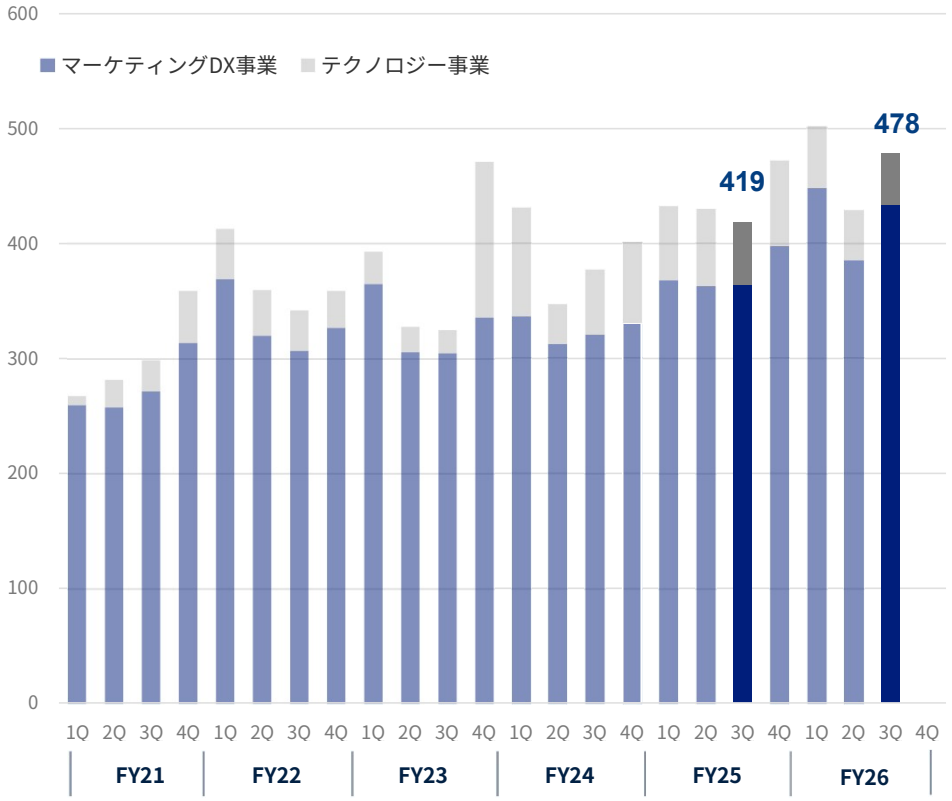
Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

２．2026年12月期第３四半期
連結決算概要

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2.2026年12月期第３四半期 連結決算概要　売上高の推移

売上高 （百万円）

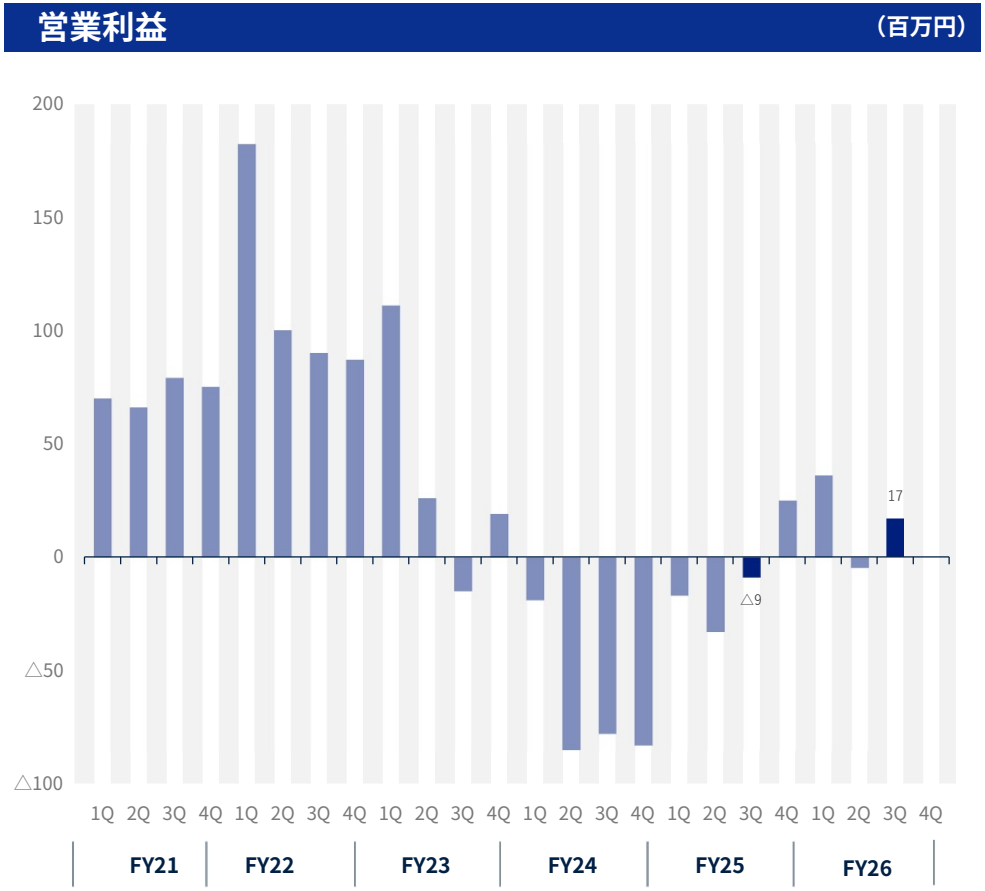


※FY25 ３Qまでは個別業績

- 当第３四半期累計期間は過去最高売上を達成し、修正後の通期業績予想に対する進捗率は77.6%と順調に推移
- マーケティングDX事業の当第３四半期会計期間の売上高は433百万円となり、当初予想比117.0%（前年同期比118.9%）と好調に推移し、当第３四半期累計期間でも過去最高売上を達成
- テクノロジー事業の当第３四半期会計期間の売上高は45百万円となり、当初予想比87.8%（前年同期比83.0%）
- テクノロジー事業は中長期的な飛躍に向けた先行投資フェーズであり、翌期以降の収益化フェーズに向け、開発及び顧客獲得は順調に進捗

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2.2026年12月期第３四半期 連結決算概要　営業利益の推移



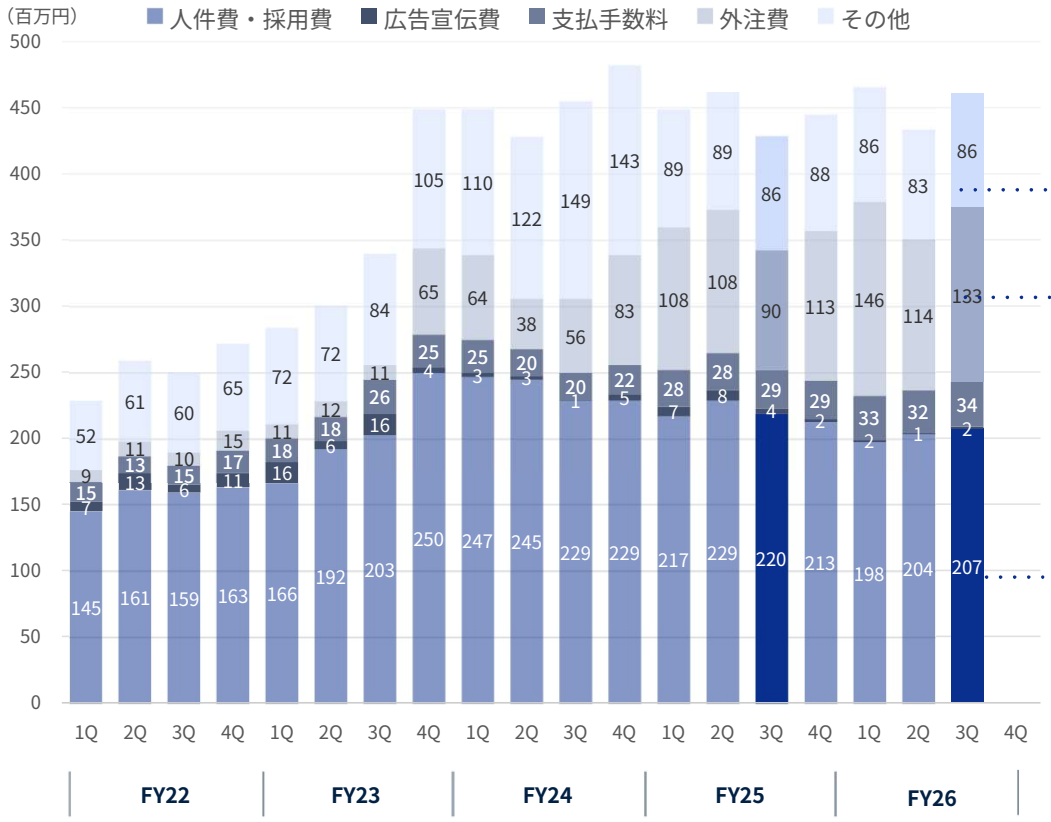
※FY25 ３Qまでは個別業績

- 当四半期会計期間の営業利益は17百万円（前年同期は△９百万円）となり、前年同期比+27百万円の黒字転換
- 第３四半期累計期間では49百万円（前年同期は△58百万円）となり、前年同期比+108百万円の大幅な黒字転換
- 第３四半期累計期間で修正後の通期営業利益予想（47百万円）を**超過**（進捗率105.9%）し、通期業績予想の達成に向けて順調に推移
- テクノロジー事業では、今後の新たな収益の柱を構築するための戦略的な先行投資を継続
- 販管費の圧縮（第３四半期累計期間：前年同期比△15百万円）

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2.2026年12月期第３四半期 連結決算概要　費用構成の推移

費用構成の推移



費用構成トピックス

全体費用（売上原価及び販管費）は前年同期比7.6%増加

その他

その他費用は前年同期比で横ばい（+0.0%）

外注費

SPAIA, Inc.における開発の開始などにより、外注費は
前年同期比42百万円増加（+46.6%）
※ものづくり補助金による影響額（+30百万円予定）は未考慮

人件費・採用費

AIの活用及び人材の選択と集中を進めたことで、人件費・採用費は前年同期比12百万円減少（△5.6%）

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2．2026年12月期第３四半期 連結決算概要　固定費構造の改革（東京支社移転）

一時費用31百万円に対し、固定費は年間約45百万円の削減。約８ヶ月で回収し、翌期以降の利益を押し上げます
2026年10月20日に東京支社を移転。事業規模と働き方に合わせて執務スペースを最適化しました

移転の収支

一時費用（当期４Q）
31百万円
特別損失（事務所移転損失）
支社移転に係る費用等

固定費の削減効果
約45百万円
年間（新事務所の家賃考慮後）
翌期以降、継続的に寄与

投資回収
約８ヶ月
移転後、一時費用を回収
以降は利益改善に寄与

業績への影響
・特別損失のため、営業利益・経常利益には影響しません
・2026年８月14日公表の通期連結業績予想に変更はありません
・年間削減額（約45百万円）は、当期の通期営業利益予想（47百万円）に匹敵する規模

移転の３つの狙い

01　固定費の大幅な圧縮
事業規模と働き方に見合った執務スペースへ最適化し、地代家賃をはじめとする固定費を削減

02　コミュニケーションの活性化
執務スペースを集約し、部門を越えた情報共有と意思決定を迅速化

03　成長領域への再投資
削減したコストを、AIを活用したサービス開発などの成長領域へ振り向け

一時的なコストで、毎年続くリターンへ。生み出した資金をAIサービスの開発に再投資し、成長を加速させます

※ 2026年11月６日公表「特別損失（事務所移転損失）の計上に関するお知らせ」に基づく見込み額

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2.2026年12月期第３四半期 連結決算概要

（百万円）	（個別） 2025年12月期３Q	（連結） 2026年12月期３Q	増減額	増減率
売上高	1,282	**1,410**	+127	+10.0%
売上総利益	895	**988**	+93	+10.4%
販売費及び一般管理費	953	**938**	△15	△1.6%
営業損益	△58	**49**	+108	-
経常損益	△62	**50**	+113	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△63※	**51**	+115	-

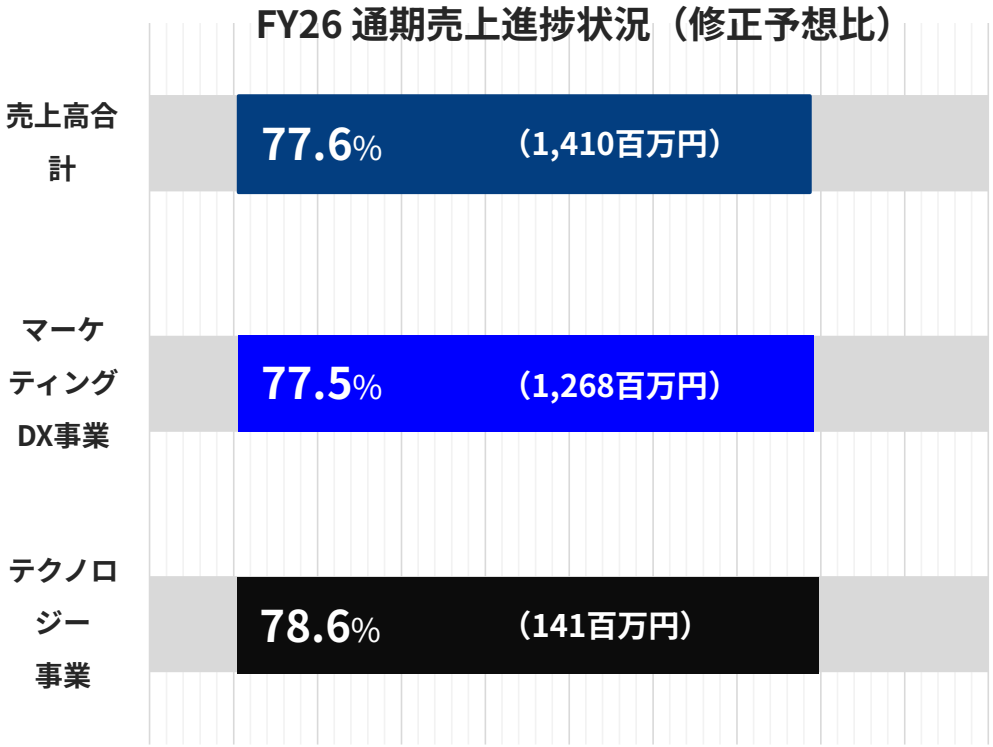
要因分析

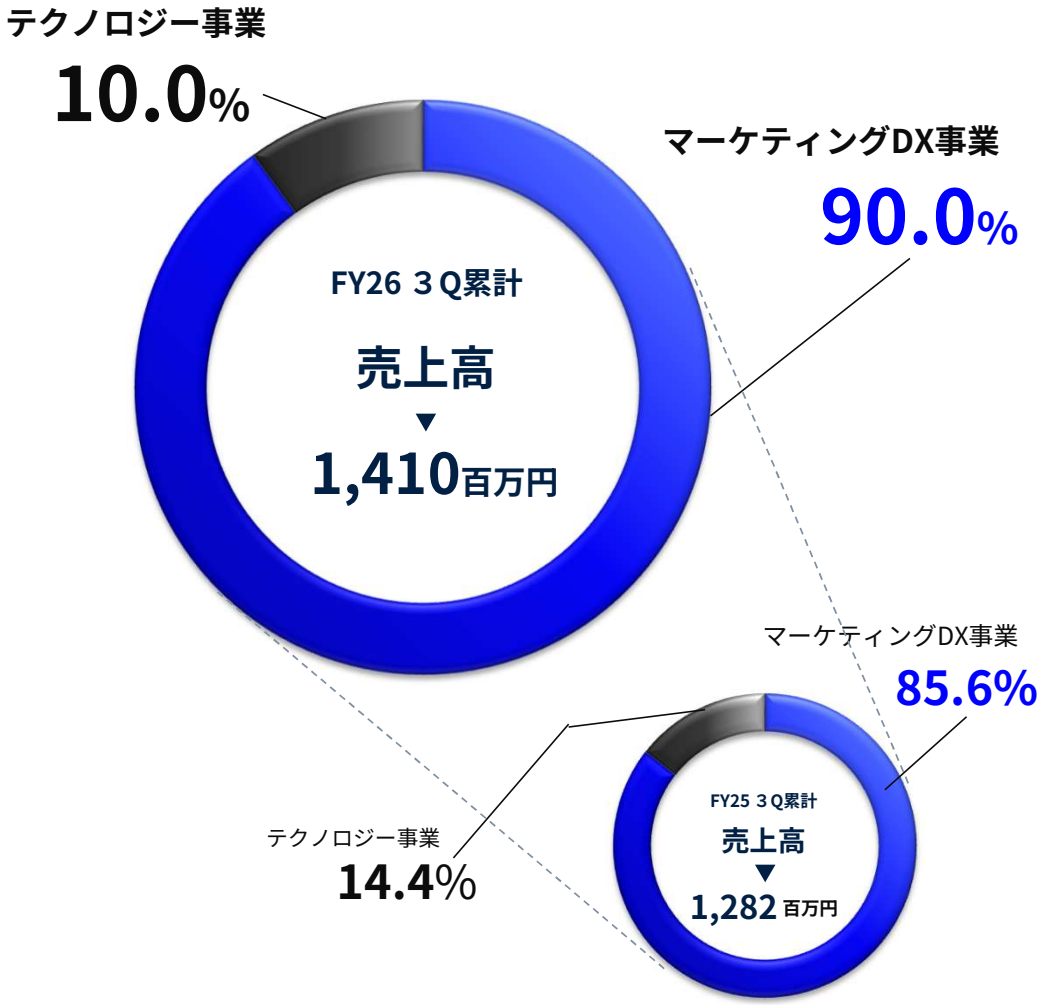
- 米国子会社「SPAIA, Inc.」との連結は2025年12月期４Qからのため、2025年12月期３Qは個別決算の数値
- ３Q累計の当初計画比で売上進捗率は108.1%、営業利益は+68百万円を達成し、上方修正を裏付ける好調な結果
- マーケティングDX事業の中でも主に広告手数料が大きく進捗し、事業全体の売上を強力に牽引している
- テクノロジー事業の利益貢献度は十分ではないが、新たな収益の柱を育てるための積極投資を行っている
- 米国向けAI予測プラットフォーム「RYUMA」の開発は順調に進捗しているが、収益化前の開発費用（ものづくり補助金考慮前）が一時的にテクノロジー事業の負担になっている

※ 2025年12月期３Qは個別決算のため、親会社株主に帰属する四半期純利益の欄には個別の四半期純損失を記載しています。

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

2.2026年12月期第３四半期 連結決算概要　セグメント別売上進捗の状況





・マーケティングDX事業
　当初予想比+12.7%、前年同期比+15.6%で進捗
・テクノロジー事業
　当初予想比△20.7%、前年同期比△23.7%で進捗

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

3. 事業概要/事業領域

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

3. 事業概要/事業領域　AI Agent への進化が牽引する事業構造の再定義

2013年 ～
AI初期導入
SiTestへのAI解析実装

2023年 ～
機能拡充
ChatGPTとの連携・機能追加

2026年 5月～（本格始動）
AI Agent Modelへ転換
全自動最適化・成果連動モデル導入（進行中）
（Gen Site / AIコンシェルジュ等）

中長期的な企業価値の最大化を目的とし 2026年５月よりSaaSモデルからAI Agent モデルへと事業構造を転換

AI Agent 化による成長戦略

1. **全自動CX改善**： AIがデータ解析から施策の自動実行・改善まで完結させ、顧客企業の生産性向上とマーケティングROIを極大化

2. **収益モデルの変革**： 従来の定額SaaSから、AIが創出した成果や付加価値に連動する**高単価収益モデル**を導入。顧客平均単価（ARPU）の抜本的上昇を推進



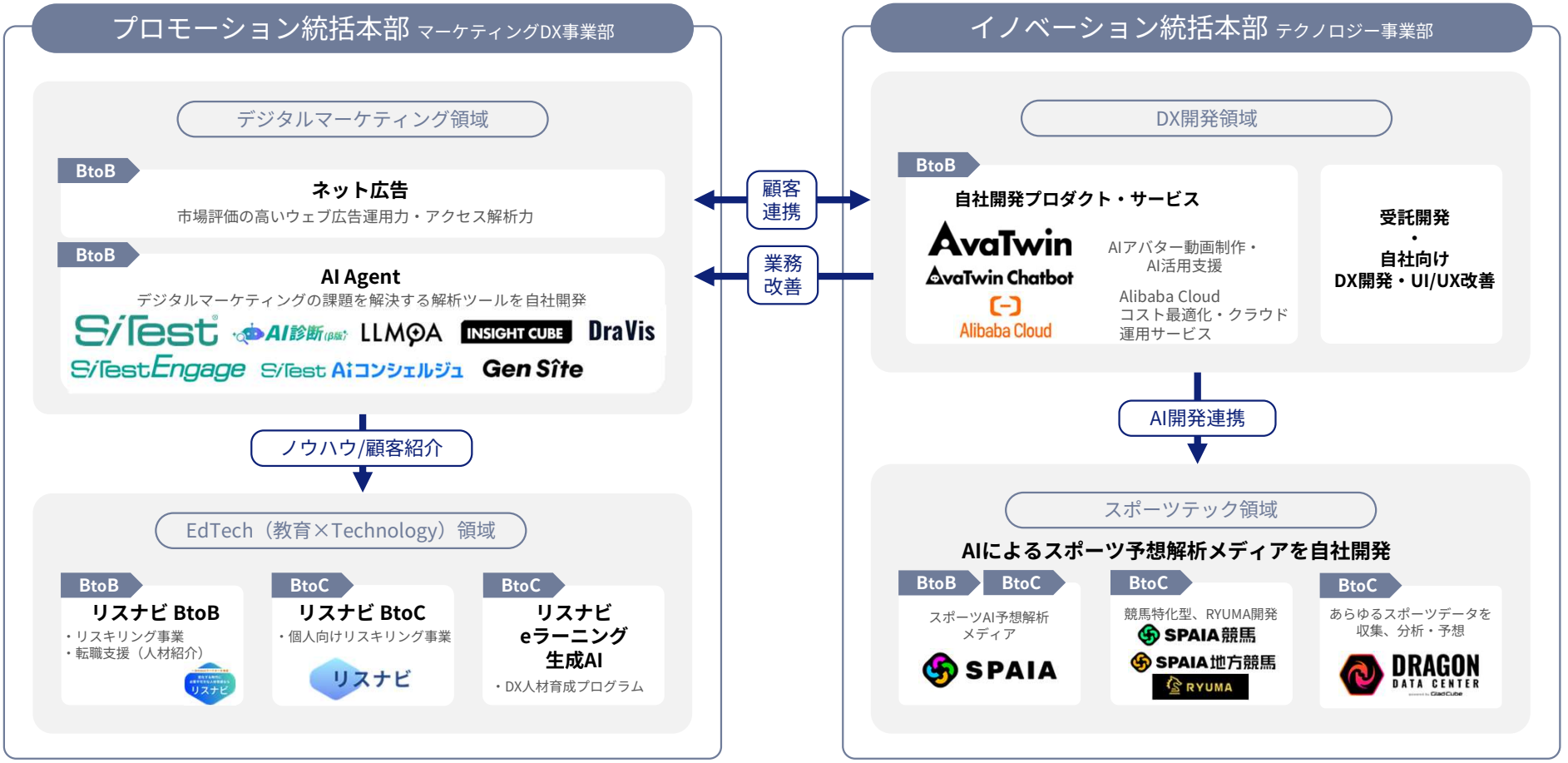
GladCube × サンスポ

2026年12月期 ３Q 新展開プロダクト

- 2026年７月提供開始　ChatGPT広告（ChatGPT Ads）の運用支援サービス
- 2026年７月リリース完了　AvaTwin Chatbotに「株主総会想定問答 自動生成オプション」追加
- 2026年９月提供開始　株式会社産業経済新聞社と協業し「サンスポ レース NAVI」を開発・運用

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

3. 事業概要/事業領域　セグメント別プロダクト一覧



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

3. 事業概要/事業領域　プロダクト詳解①｜マーケティングDX事業

セグメント別プロダクト一覧の詳解（1／2）

顧客のWebマーケティングは「作る→集める→接客する→分析・改善する」の繰り返し。**当社は「ネット広告」と「AIツール」で全工程を一気通貫に支援**

工程	① 作る サイト・動画を用意する	② 集める 見込み客に見つけてもらう	③ 接客する 来訪者を顧客に変える	④ 分析・改善する 成果を高め続ける
顧客の課題	「LPや広告動画の制作に時間とコストがかかり、施策が遅れる」	「広告の費用対効果が上がらない／AI検索で自社が紹介されない」	「サイトに来訪しても、問い合わせ・購入に至らず離脱してしまう」	「データが散在し、どこを直せば成果が上がるのか判断できない」
当社のサービス	**Gen Site** **オールインワンの次世代 LP/ サイト制作プラットフォーム** AI生成とヒートマップ・分析機能の統合により、高速な改善サイクルを実現 **DraVis** **次世代型ショート動画・ドラマ制作基盤** 独自AI活用により制作プロセスを革新。低コストかつスピーディーな動画マーケティングを実現	**ネット広告運用** **広告代理事業として広告運用を代行** 検索・SNS等の運用型広告を高精度に運用し、成果につながる見込み客を集客 **LLMOA** **次世代AI検索（LLMO）の分析・対策ツール** AI可視性スコアや外部引用源をワンストップで計測・分析 **INSIGHT CUBE** **実践知・戦略に特化したビジネスメディア** 意思決定プロセスの発信を通じ見込み顧客との関係を強化	**SiTest Engage** **次世代エンゲージメントソリューション** 動画ポップアップや個別最適化した案内で、離脱を防ぎ行動を後押し **SiTest AIコンシェルジュ** **AIアバターによる会話型接客** 声と表情で自然に対話。Webに加え実店舗・サイネージでも利用可能	**SiTest**　主力製品 **サイト上の行動を可視化し改善** 解析データのAI自動集計からA/Bテストまで一気通貫。ノーコードで迅速に改善 **AI診断（β版）** **データ分析から改善提案までをAIが自動化** ワンクリックで高度な分析を実行。専門知識不要で業務工数とコストを大幅削減
循環	④の分析結果を①〜③に反映し、改善サイクルを高速で回し続ける			

当社の強み：「ネット広告代理事業」の運用ノウハウ × 「自社AIツール」のデータ連携
単品ツールではなく、工程をまたいだ一体提供により、顧客のマーケティング投資対効果（ROI）を最大化

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

3. 事業概要/事業領域　プロダクト詳解②｜テクノロジー事業

セグメント別プロダクト一覧の詳解（2／2）

「AI開発力」と「データ解析力」を軸に、**企業のDXを支える領域と、スポーツをデータで楽しむ領域の2つを展開**

領域	DX開発領域　企業向け（BtoB）		スポーツテック領域　ファン向け（BtoC）・海外展開	
	企業の情報発信を効率化 対象：上場企業・一般企業・自治体	**企業の開発・IT基盤を支援** 対象：一般企業	**スポーツをデータで愉しむ** 対象：スポーツ・競馬ファン	**スポーツ×AIを世界へ** 対象：米国市場・スポーツ事業者
顧客の課題	「動画制作や、株主・顧客の問い合わせ対応に手間がかかる」	「AI・システム開発の人材がいない／クラウド費用がかさむ」	「データが膨大で、予想や観戦を深く楽しむための分析が難しい」	「高度なデータやAI予想を、海外のファン・事業者が使えない」
当社のサービス	**AvaTwin**　AI動画 **AIアバターが話す動画を制作** 決算説明・株主総会・採用・研修の動画を撮影なしで多言語制作 **AvaTwin Chatbot**　AIチャット **資料を読み込み、AIが自動回答** 株主総会の想定問答や社内・自治体の問い合わせに24時間対応	**受託・DX開発**　開発 **AIを活用したシステムを企画・開発** AI Agentを活用した企画提案型のDX開発やUI/UX改善 **Alibaba Cloud**　クラウド **クラウド費用の削減を支援** 正規代理店として請求代行。複数クラウドの移行・最適化も支援	**SPAIA**　主力メディア **スポーツのAI予想・解析メディア** プロ野球のAI勝敗予想など幅広い競技をデータで解説（2016年～） **SPAIA競馬**　競馬 **AIによる競馬予想・解析メディア** 独自AIエンジン「KAIBA」で中央・地方競馬を予想。有料会員モデル	**RYUMA**　米国展開 **米国向けAI競馬予想サービス** 米国子会社SPAIA, Inc.が開発。日本式の「印」で直感的に予想 **DRAGON DATA CENTER**　開発中 **スポーツデータの収集・解析基盤** 国内外のスポーツデータをBtoB中心に提供予定
連携	スポーツで磨いたAI予想・データ解析技術を企業向けDXに活用し、DXで培った開発力をスポーツテックに還元			

当社の強み：2016年からのスポーツAI予想で培った「データ解析力」 × 自社サービス開発で磨いた「AI開発力」
自社メディアで磨いた技術を、企業のDX支援と海外展開で収益化

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

４. 事業別 決算ハイライト

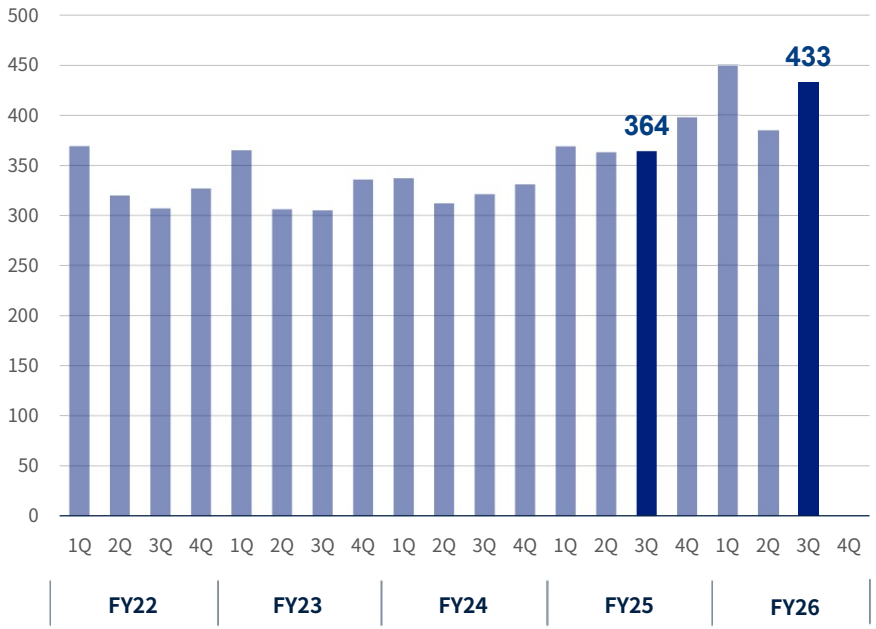
４-１. マーケティングDX事業

AI Agent（サイト解析・改善ツール「SiTest」の販売等）事業、
ネット広告事業、人材支援

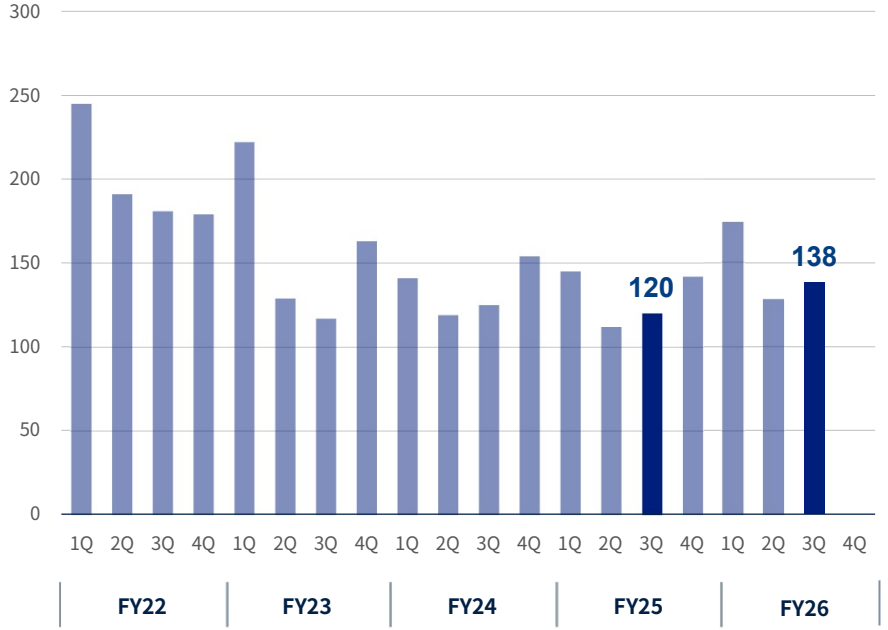
Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

4-1. マーケティングDX事業　業績

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



概況

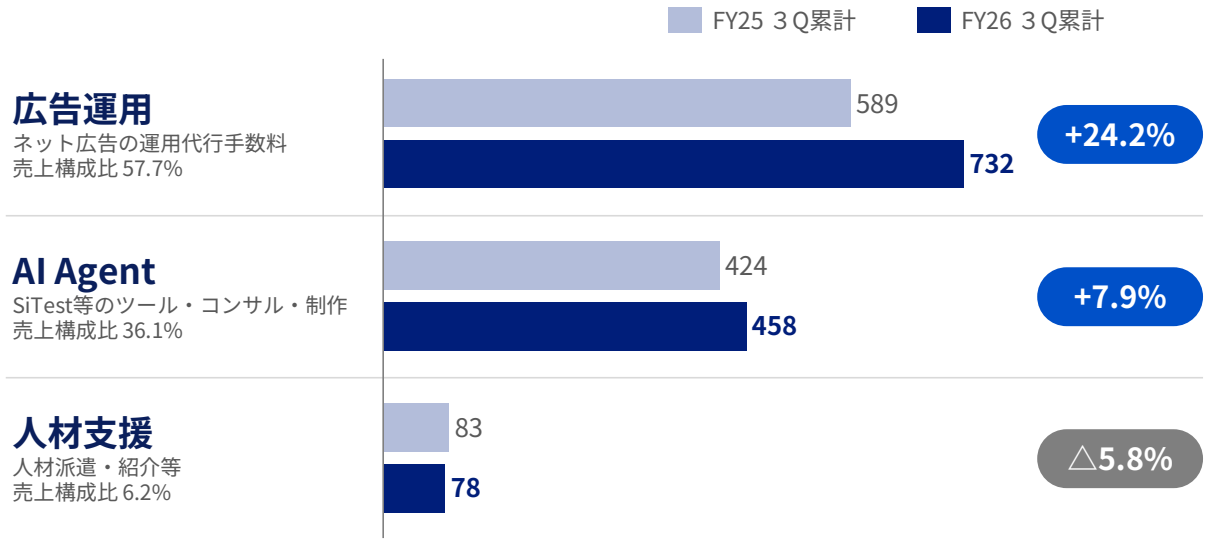
- 通期の売上高対予想進捗率：77.5%（修正後予想比）
- 第３四半期累計期間の売上高は、過去最高を更新
- ツール利用、コンサルおよびサイト制作が引き続き好調
- SaaSモデルから、AI Agentモデルへと事業構造を転換
- AI活用による次世代制作プラットフォーム「Gen Site」の提供開始
- 市場シェアの拡大に向けた、他社との戦略的業務提携の実行

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

4-1. マーケティングDX事業　収益構造と成長ドライバー

広告運用手数料が前年同期比+24.2%と成長を牽引。AI Agentも+7.9%と着実に拡大
マーケティングDX事業の第３四半期累計売上高は1,268百万円（前年同期比+15.6%）

収益源別 売上高（第３四半期累計・百万円）



※管理会計上の勘定科目別集計（当社単体）。前期のAI Agentはクリエイティブ売上を含む。百万円未満切捨て。前年同期比は円単位で算出。

収益モデルと成長ドライバー

広告運用
収益：広告運用代行の手数料
成長ドライバー
・パートナー連携による大型案件の獲得
・ChatGPT広告の運用支援（2026年７月～）

AI Agent
収益：ツール利用料（直販・代理店）、コンサル、制作
成長ドライバー
・AI Agentモデルへの転換によるARPU向上
・Gen Site・AIコンシェルジュ等の新サービス

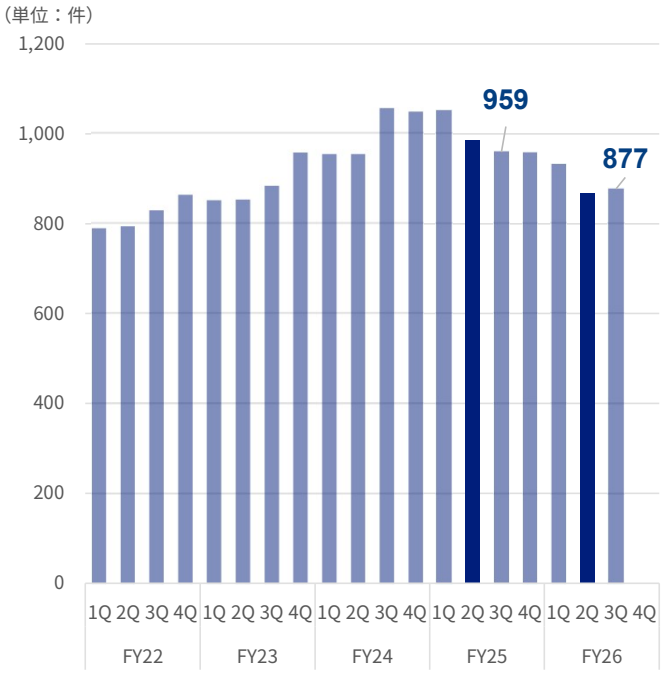
人材支援
収益：スクール受講料、人材紹介・派遣
成長ドライバー
・「リスナビ」受講者の転職・人材マッチング

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

4-1. マーケティングDX事業　KPIの推移

四半期ごとの平均稼働アカウント数推移
（AI Agent+ネット広告）

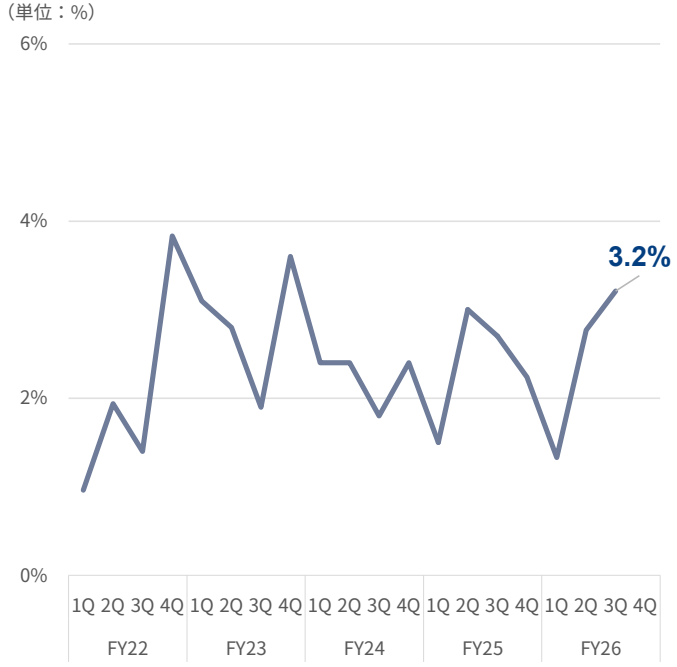
広告顧客の増加により、２Qから微増



定義：AI Agentチーム及びネット広告チームの顧客の合計

SiTest：四半期ごとの平均解約率推移
（Net Revenue Churn Rate）

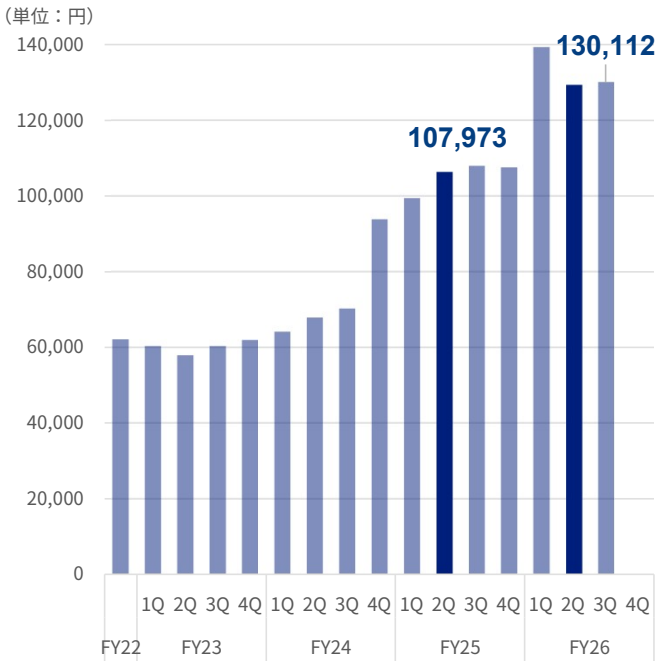
各社のAI活用等により平均解約率上昇（目標値1.5%以下）



定義：（失った月次経常収益－増額した既存顧客分の月次経常収益）
／月初（先月末）の月次経常収益

SiTest：四半期ごとのARPU推移

新機能・新サービス追加などによりARPUが向上



定義：正味月次（年次）収益／ユーザー数

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

4. 事業別 決算ハイライト

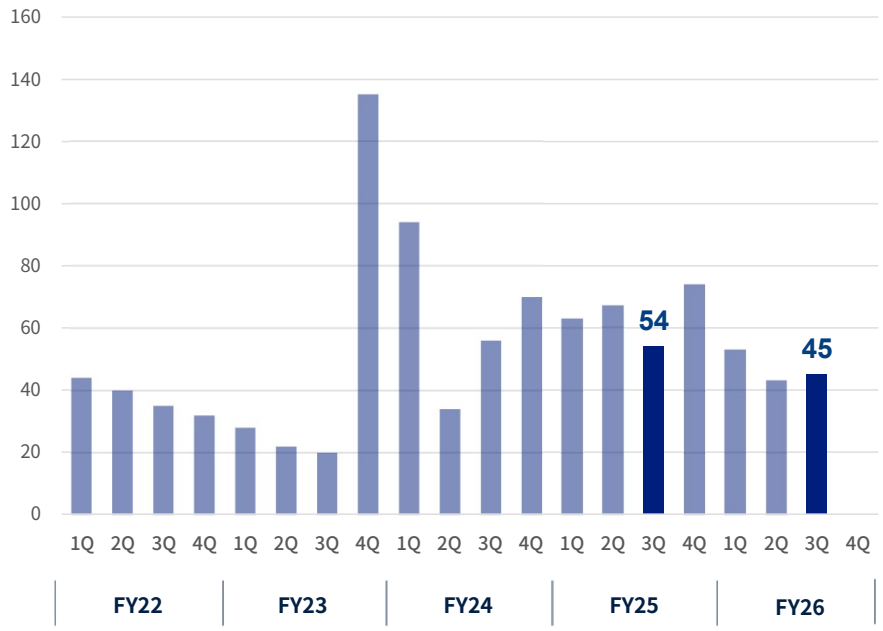
4-2. テクノロジー事業

SPAIA・SPAIA競馬、スポーツデータセンター「DRAGON DATA CENTER」
DX開発（AI関連プロダクト・受託開発）事業
SPAIA, Inc.

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

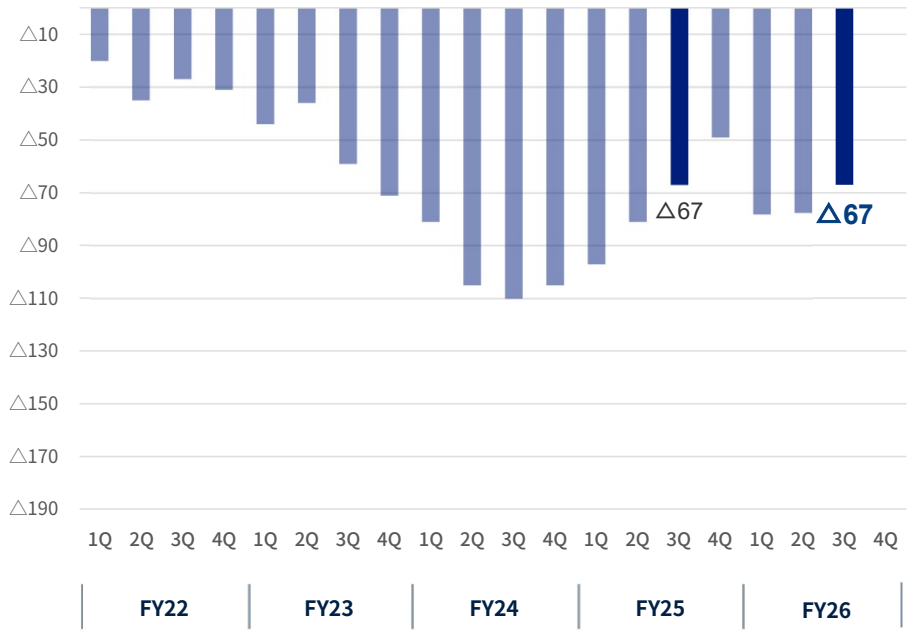
4-2. テクノロジー事業　業績

売上高（百万円）



※FY25 ３Qまでは個別業績

営業利益（百万円）



概況

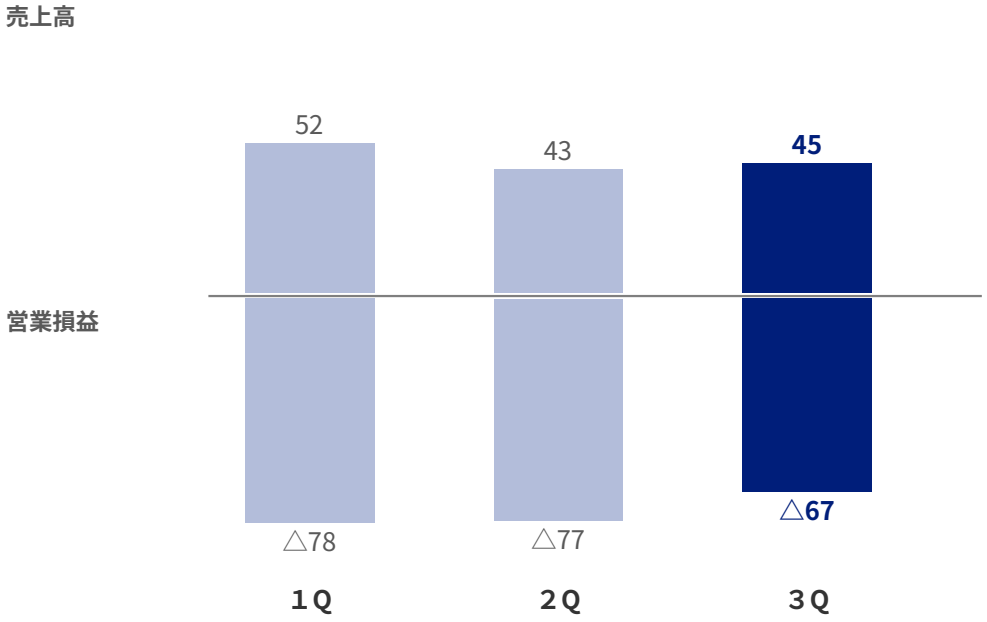
- 米国向けAI予測プラットフォーム「RYUMA」の第１段階開発が完了
  ものづくり補助金は実績報告を完了し、開発投資の負担軽減へ
- セグメント損失は四半期ごとに縮小（１Q △78 → ３Q △67百万円）
- AvaTwin Chatbotに「株主総会想定問答 自動生成オプション」を追加
- 株式会社プロネクサスとの連携で、AvaTwinの販路をHR領域へ拡大
- 株式会社産業経済新聞社と協業し「サンスポ レース NAVI」の開発・運用を開始

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

4-2. テクノロジー事業　先行投資の進捗と収益化へのマイルストーン

セグメント損失は当期２四半期連続で縮小（１Q △78 → ３Q △67百万円）
スポーツAIで培った予測・データ解析技術の収益化に向け、RYUMA開発やBtoB連携は計画どおり進捗

FY26 四半期業績の推移（百万円）



※セグメント別の四半期（３か月）売上高・セグメント利益。百万円未満切捨て。

2026年の主なマイルストーン

2026年７月
RYUMA 第１段階開発完了
米国向け「予測オッズ算出エンジン」。海外競馬市場への参入準備

2026年７月
AvaTwin Chatbot 機能追加
「株主総会想定問答 自動生成オプション」を追加し、IR領域へ展開

2026年９月
「サンスポ レース NAVI」提供開始
株式会社産業経済新聞社「サンケイスポーツ」の新サービスの開発・運用を担当（BtoB収益）

継続中
株式会社プロネクサスとの協業
AvaTwinの販路をHR領域へ拡大

**スポーツで磨いたAI予測・データ解析技術を、
海外展開・BtoBデータ提供・企業DXへ横展開して収益化**

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

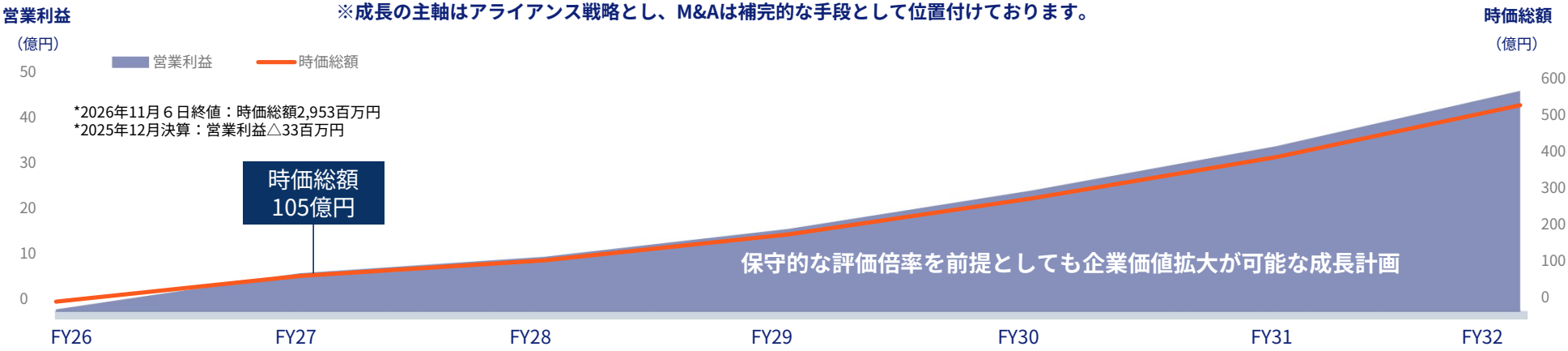
５. 成長戦略・中期成長イメージ

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

5. 成長戦略・中期成長イメージ　時価総額500億円に向けた成長戦略

アライアンス拡大 × AI高収益モデルで、営業利益の飛躍的な成長を目指す

※成長の主軸はアライアンス戦略とし、M&Aは補完的な手段として位置付けております。



※**想定PER 15**：本試算における評価倍率は、国内IT企業の一般的な市場評価レンジを参考にした仮定値であり、将来の株価や企業価値を保証するものではありません。

黒字基盤	100億円突破	拡張開始	加速フェーズ ——— - - - - - →	利益拡大	時価総額500億円
・黒字安定化 ・AI初期収益 ・アライアンス強化開始	・AIプロダクト主力化 ・高粗利化 ・海外売上開始	・AI比率上昇 ・顧客単価上昇 ・利益率改善	・提携拡大 ・ストック最大化 ・グローバル展開拡大		

アライアンス戦略

● **マーケティングDX事業**

AI Agent事業
CRM/MAプラットフォーム提供企業・ECプラットフォーム提供企業 等

ネット広告事業
総合広告代理店・大手広告プラットフォーム・EC/D2C支援企業 等

● **テクノロジー事業**

DX開発事業
AI基盤/LLM提供企業・管理部門業務支援企業 等

SPAIA事業
スポーツ/競技メディア提供企業・公営競技関連企業 等

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

5. 成長戦略・中期成長イメージ　マーケティングDX事業　進捗状況

	2026年12月期の取り組み事項	進捗状況
AI Agent領域	• 既存サービスをより深化させることによる顧客満足度向上	• SiTest AIエージェント：７月21日提供開始（分析から改善提案、実装支援まで。機能は順次拡充） • SiTest「LP AIレポート®」：７月22日機能追加 • ITreview Grid Award 2026 Summer：25回連続受賞
	• AI活用の促進	• AIコーディングエージェントにより調査・企画・開発を高速化 • 画像・クリエイティブ生成AIをLP制作や機能開発に全面活用 • AIを活用した商談及びレポート作成の効率化、顧客対応履歴の要約自動化を推進
	• パートナー関係強化＆市場シェア獲得	• 主要販売パートナーとの連携強化により、代理店販売網を拡大 • 代理店主催展示会への参加、関西・地方向け出展を企画中
	• その他の新規取り組み	• 顧客意見を汲み取った少人数での高速R&D・サービスローンチを継続 • 自社メディア「INSIGHT CUBE」で、LLMOA実測データによる調査記事を公開
ネット広告領域	• パートナー企業との連携強化による大型広告案件の獲得強化	• 既存顧客から特に連携強化する企業を厳選して交渉進行中 • 案件獲得およびリードシェア創出に向けたコミュニケーションを徹底
	• デジタルマーケティングにおける新サービス＆制作体制強化	• AIを起点としたワークフロー再構築に向けて要件定義中（生産性と再現性の向上） • 「ChatGPT広告（ChatGPT Ads）」の運用支援サービスを７月24日に提供開始（LLMOAの計測データを活用）
	• クリエイティブ領域における新サービス	• 体制整備とともに新サービスモデルを継続考案中
	• その他業務執行状況（顧客アプローチ/採用・教育/AI活用）	• 既存顧客及び新規顧客への提案活動を強化し、下半期の売上拡大に注力 • 採用に関して、「Wantedly Awards 2026」BEST TEAM NOMINATION 100に選出

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

5.成長戦略・中期成長イメージ　テクノロジー事業　進捗状況

	2026年12月期の取り組み事項	進捗状況
DX開発領域	• SI営業体制構築・受託開発体制強化	• 過去実績企業や他サービス連携企業への営業打診を開始 • 特定のパートナー企業との協業に向けた協議を継続中
	• 社内システム最適化と業務効率化・生産性向上	• AvaTwin Chatbotの社内活用を開始。IRサイト（株主・投資家対応）へ設置完了 • 社内問合せ対応ボットを設置
	• 最先端技術を活用した新規サービス＆受託開発拡充	• AvaTwin Chatbotに「株主総会想定問答 自動生成オプション」を７月28日に追加 • 大手企業において導入検討が進行中 • 既存顧客への受託開発やアリババクラウド等のクロスセルを実施
	• 大手グループ会社との生成AI協業・アライアンス	• クラウド事業の再編動向を捉え、複数社への提案が進行中 • 株式会社プロネクサスとの協業を通じ、HR領域へAvaTwinの販路を拡大中 • AIツールの活用により、開発リソースの最適配分と業務効率化を推進
SPAIA領域	• DRAGON DATA CENTERの成長に向けたデータ提供先創出	• プロ野球一球速報：話題性の高いイベントもあり堅調に推移 • LINEヤフー株式会社「スポーツナビ」（カーリング）：2026-2027シーズンに向けた開発進行中
	• SPAIA競馬Webリニューアル（UI/UX改善）	• SPAIA LAB構想（※）策定 • ※多様なファン層への多角的なアプローチを行うための構想
	• SPAIA競馬におけるBtoBでの新たな収益創出	• サンケイスポーツ連携：株式会社産業経済新聞社が発行する「サンケイスポーツ」の新サービス「サンスポ レース NAVI」（中央競馬・地方競馬・ボートレース・競輪・オートレースを横断表示）を９月１日に提供開始。開発・運用を担当
	• 海外競馬市場参入準備（RYUMA）	• 米国向け「予測オッズ算出エンジン（RYUMA）」が2026年７月に第１段階開発完了 • AIを活用した開発体制への移行を推進し、技術力を積極的に発信

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

6 . Appendix

B/S

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

6 . Appendix　2026年12月期３Q 決算（B/S）

（百万円）

	2025.12 期末	2026.12 ３Q末
流動資産	1,921	**1,845**
現金及び預金	1,370	**1,093**
売掛金及び契約資産	468	**456**
棚卸資産	―	**0**
その他	82	**295**
固定資産	237	**229**
有形固定資産	26	**24**
無形固定資産	59	**55**
投資その他の資産	151	**150**
繰延資産	15	**12**
資産合計	2,174	**2,087**

（百万円）

	2025.12 期末	2026.12 ３Q末
流動負債	1,062	**1,039**
買掛金	406	**439**
一年以内返済 長期借入金 等	281	**251**
未払金	44	**86**
その他	330	**263**
固定負債	393	**301**
負債合計	1,456	**1,340**
純資産合計	717	**746**
負債・純資産合計	2,174	**2,087**

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。

このような将来予測に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.